広報 かじき

No.237
昭和50年 4

発行／加治木町役場・編集／総務課文書係

ぼくたちは柁城小1年1組です（みずたに学級で）

■メモ　人口／20,291　男／9,567　女／10,724　世帯／6,526　（50年3月1日現在）

50年度当初予算

一般会計 13億3千199万円

有史以来の難局、切開きたい

三月十二日に開かれた昭和五十年、第一回定例町議会で、東町長は「住民福祉、環境保全、農業生産、教育文化など本町の実情を勘案し予算を考えていく」として所信表明した施政方針の要旨は次のとおり。

（町長の施政方針）

第1回定例町議会が3月12日から開会された（本会議場）

■町の実態と方向■

はじめに本町の実態を申し上げます。縦貫道が開通して、加治木インター以東は、完全にその機能を果たしています。加治木インター以北は目下、着々工事は進行中で十号バイパスも完成が間近です県道・下手小山田線は、拡張準備が終っており、港湾施設も昭和五十年度が最終年度となって五カ年計画事業が一応完了します。

広域市町村圏計画事業も一段落しましたし、広域消防にしても内容と陣容の整備が、ひととおり終りました。そして火災活動から救急活動にいたるまで、住民の期待と信頼にこたえる状態になりました。

衛生処理組合も、吉田町が参加しました。懸案のし尿処理場の増設も三月でもって六十㌧の増設が終り、建設当時の三十㌧と合わせますと九十㌧の処理ができます。

火葬場は、西姶良斉場として運営され施設は県内でも最高と言われています。本年度は、発電気の施設も整備し、不時の電気事故にも心配がなくなって参ります。

加治木町の道路については、改良舗装も相当、進展をみました。農免道路も本年でしゅん工して、来年は土地改良事業で舗装の見込みがたちました。

都市排水も、その全部ではないけれども、主なところの排水の処理ができました。

町営住宅も、総数では五百九十八戸できて、総合グラウンドもその用に供することができるようになったわけです。

幼稚園も保育所も、公・私立双方で幼児教育なり、保育が該当者の全員とまでいかなくても、その大部分にできるようになりました。

人口は、昭和五十年二月一日で二万二百五十四人となっています。これは昭和四十五年十月の国勢調査一万八千七百十六人の時に比べ千五百三十八人増えています。人口の上昇率は、町村としては本県第一位にあります。この人口は、本町の最も多かった昭和三十年に次ぐものであり、今後日を追って少しずつではあるが、増加して参るものと推定しております。

県内市町村での総人口段階は、姶良町隼人町に次いで第十八位となっています二年前は二十位であったわけです。

一方、本町の経済の発展も大変めざましいものがあります。商店数は昭和四十九年五月一日で四百三十四店で、年間の商品販売額は十億七千万円となり、県市町村では国分市に次いで第十三位と高い水準にあります。また、製造業は昭和四十八年十二月三十一日現在で四十八工場あり、製造品の出荷額は七十一億二千万円で年々増加しています。

昭和四十八年度の町民所得は百十五億六千五百七十七万円で、四十七年度に比べると三三・三パーセント増加しています。町民一人当たりの所得でみると五十八万四千九百五十七円で、四十七年度に比べると三〇・三パーセントと大幅な伸びを示しています県平均は五十六万七千七百七十円で、これと比較するというと一万七千円だけ高いという結果になっているわけです。

昭和四十五年より、米の生産調整を実施してきました。これも本年度で終了することになりました。

十三塚原畑地総合土地事業も加治木・溝辺・隼人の三カ所で推進中でしたが同意率数も八六％となって、十三塚原土地改良区の設立認可も去年二月二十五日付でなされた関係で、五十年から五十七年度まで、七年計画で総額五十億円以上の県営事業として実施段階に進むことになります。

いろいろ心配されました弓削・楠原団地の「地産」の取得した農地、約三十％の土地も、農業委員会と県開発公社が農地合理化事業で処理してもらい、畑総事業の推進に寄与するところ、大なるものがあると思うわけです。

また、離農転職安定・兼業農家のために昨年計画しました農村工業導入事業計画の依頼をしていますが、現在の社会情勢では、更に慎重に検討を要すると思われるわけです。

四十九年九月に、姶良西部森林組合が発足しましたが、この発足を機会に第二次林業構造改善事業を計画し、五十年より四カ年計画でこれを推進することになりました。高井田―毛上間の道路、嶽林道がその主なるもので、事業費は一億円ということになっています。

水産関係では、加治木漁協が五十年七月、姶良漁協と合併する計画で目下、進行中です。

昨年、計画していました丸岡公園整備は、総需要抑制で実施が大変、困難になりました。用地の管理をしながら引続いて、よい方法を考えてみたいと思います

公営住宅の建設戸数の問題は先程、県下でも市を含んで上位にある―そういう非常に多くの数があることを述べたわけですが、今日の財政事情ではより多くの建設が大変困難でありますから、極力民間や住宅公社あるいは共済組合等の住宅建設をすすめてもらうこととといたします

現時点においても、県の職員住宅、学校職員住宅、日本勤労者住宅協会が四百戸から大体五百戸程度、それから鹿児島県住宅供給公社が第一次で三十六戸、二次で四百戸程度、太陽ハウス・積水ハウス・トーヨドなども建設して、一部は終わっており、残りは建設準備中である。その数も百戸以上となる予定ですから、十分これらに協力をいたしたい。

十号バイパスについては、別府川と岩原までの区間は五十一年四月開通をめざし、着々工事が進んでいますが、加治木インターまでの区間ならびに隼人までの路線は近々のうちに決定される見込みです。この路線は町の将来計画や都市計画などと重要な関係があるので、町計画を十分に取入れてルートを国側に要求しながら協力して参りたいと考えています。

縦貫道側道の橋梁の問題ですが、すなわち鈴玉橋あるいは湯之谷川にかける橋のことですけれど、これは公共ではどうもできない単独でもできない―総需要抑制で、今のところ万策尽きた状態ですがその問題は一つ、八方手をつくして再度再検討する要があると考えています。

東町長の施政説明

懸案の用途地域の指定は、五十年度内には処理する予定でありますし、下水道事業は二、三年のうちに都市計画まで持ち込む心組みです。また都市計画事業の道路、都市排水、区画整理を可能な地区から計画し、これを進めていく考えです

広域行政では、西部衛生組合で吉田町に新しい塵芥焼却場を設置する計画ですとりあえず組合の予算で本年度、土地を取得することになり、次年度以降に建設をする考えです。

最後に、上場の簡易水道が軒なみに水不足となり、大きな問題となっていますすでに数カ所で建設済み、あるいは建設中ですが、この工事については強い助成の陳情がなされています。財政多難で、今回は措置できませんでしたが、できるだけ早い機会に措置をいたしたい意向です。なお、将来は広域やあるいは中型簡易水道に切り替えて、町が事業を起こすことも検討してみる時期が来た―と考えているわけです。

このような町政の実態ですが、住民の皆さんには、いろいろ困難に耐えてご努力いただき、町政にも直接間接にご貢献くださいましたことは、心から感謝申し上げる次第です。

町としても、つねにいろいろな難問につき当たりましたが、議会のご協力、町民のご理解のもとに一歩ずつであっても本町行政を前進させていくことができましたことは、当局として大変、大きな喜びです。しかしながら、昨年来の実態をふまえ、新年度は実に窮屈な問題があまりにも多く出て参りました。ただなんとしても先程、申し上げたような問題を処理しながら、町民の福祉を高めて参らねばならないので執行部の総山を結集してこの有史以来の難局を切り開いて参りたい。

そのような意味で、町の施策や予算を考えることとといたしたわけです。

㊟…「国の新年度予算」は省略します

■町の予算■

昭和五十年度の本町の予算編成にあたっては、前述の国の経済事情や予算編成方針等を勘案しながら、次の事項に留意して編成しました。

とくに議会からの町政に対する要望やまた、一面町民からの要望等についてもいろいろと検討しましたが、何分にも本年は厳しい国の方針や地方財政事情等の関連で、意の如くならなかった点は、まことに遺憾であります。私としては、これらの状況を卒直に受けとめながら住民福祉、環境保全、農業生産、教育文化など、本町の実情を勘案し、予算を考えていくことにしました。

1…公共事業は、住民生活に直接関係のある事業を優先させ、事業により長期的視野で措置をする。

2…福祉事業は、国・県の施策に合わせ、本町の実情に対応して、従来の実情を高めるように配慮して予算を計上する

3…教育は人造り、健康増進の面から最も大切なことですので、教育環境の整備など、段階的に推進する。とくに財政的に困難な状況の中ではありますけれども可能な限り後退しないように努力する

4…物件費等は極力、節減する。
5…人件費の増高に伴い、事務・事務量を分析し、効率的な人事配置等を総合的に検討を加え、行政効果を図る。
6…地方税徴収の確保、使用料、手数料の適正化を図るとともに、町道編入を積極的に推進し、基準財政需要額の増加を図り、財政的確保を図る。
以上を基本的な考え方としまして、昭和五十年度当初予算は十三億三千一百九十九万四千円を計上しました。前年度対比一七・八%の増です。

■歳出予算の内容説明■

五十年度の歳出予算十三億三千一百九十九万四千円を性質別に大別すると、次のようになります。

▽人件費　五億三、五七八万円
▽物件費　二億〇、一七八万円
▽普通建設事業費
　一億七、一八五万円
▽補助費　一億三、〇六二万円
▽公債費　一億一、九五七万円
▽扶助費　一億〇、一二七万円
▽失業対策事業費
　四、〇〇五万円
▽災害復旧費
　四六七万円
▽繰出金
　二〇七万円
▽積立金
　一八万円

□議会費
三千九百七万九千円
三億九千七万九千円を計上。主に人件費や経常経費。

□総務費
二億二千三百二万六千円を計上人件費一億六千七百九十四万四千円、物件費三千九百十一万五千円補助費等八百六十三万円、普通建設事業七百六十万三千円。交通安全施設工事費三百十六万八千円、縦貫道側道購入費等三百九十三万五千円が主なるものです。

□民生費
二億四千四十七万一千円を計上前年度より六千七百八十三万余円の増。民生安定、社会福祉の充実は時代の強い要請であり、行政の課題であるため三九・三パーセントの増額
人件費の増や心身障害者医療費百四万円、老人医療費一千四百五万二千円、国民年金印紙購入費一千七十一万七千円、保育扶助費九百八十八万八千円。新たに老人福祉費で独居老人の家庭訪問員制度を取入れる。老人福祉電話二十台の設置費百万六千円など。

□衛生費
六千九百四十八万二千円を計上人件費一千九十八万一千円、西部衛生処理組合関係の負担金二千八百六十五万七千円、医師・看護婦雇上げ賃金二百五十万円、医薬材料費四百五十万円、国民健康保険会計へ繰出金二百七万四千円。

□労働費
五千四百六十九万一千円を計上前年より三百十九万円の減、一般就労者の延人員減による賃金の減が主。失対事業就労者の皆さんは年々老齢化して人員も減少しつつあるが、まじめに働き本町の建設に大いに貢献されている。
本年度の事業計画は夏木線、地久里線のコンクリート舗装、湯之谷線ほかの防塵舗装や町内の側溝排水路および公園の清掃など衛生面に重点をおいて進めたい。

□農林水産業費
一億四百八十五万八千円を計上前年より五千六百七十二万六千円の増。人件費は四千四百七十一万五千円、物件費一千三百十六万九千円、補助費等一千六十四万三千円、普通建設事業三千六百三十三万一千円が主。
事業の主なものは県単土地改良事業で道風地区の農道整備・須崎地区かんがい排水事業の工事費として八百四十二万円、団体営農道舗装費一千五百二十四万円、第二次林業構造改善事業費一千七百三十六万円を新たに計上。

□商工費
一千五百六十八万八千円を計上丸岡公園整備計画は、国の施策の関連で財源確保が困難な情況にあるので本年度は根本的に計画の練直しが考えられる。

□土木費
一億五千八百四十万四千円計上道路関係事業は、補助金、起債の面で極めて厳しい制約を受けて財源見通しが困難なため前年より大幅な事業削減を行う。
吉原線ほか三線の暗きょ側溝工事や町道補修資材費等に八百三十一万五千円、新設改良費・特定交通安全施設事業として女学校通り線、駅前大通り線、授産場線、の三線のほか、西別府線改良工事用地費等を計画。舗装は西別府線高速道側道ほかを計画し一千三百万円。
都市計画事業の排水工事は田中地区ほか二カ所の排水路約四百七十メートルの工事費五百四十万円、木田本通り線の用地購入費一千百二十三万二千円を計上。
住宅建設費は一種住宅四戸、二種住宅四戸の計八戸の建設事業費三千五百二十九万七千円を計上。
がけ下危険住宅の移転は六戸を対象に六百八十六万一千円を計上

□消防費
六千六百二十七万九千円を計上姶良西部消防組合の分賦金に四千五百五十六万円、消防団員の報酬や出動手当訓練手当の改訂や防火水槽設置、小型動力ポンプ購入費など二千十九万七千円が主なもの

□教育費
二億三千三百七十五万五千円の計上で、人件費一億四千六百八万六千円、物件費三千八百十一万円補助費等一千四百七十二万一千円建設事業費二千三百三十四万二千円が主なるものです。
錦江小の三教室、新増築を計画なお南九州病院内の分教室は、新年度から県立指宿養護学校の分校として移管開設されることになりました。

□災害復旧費
四十九年発生の災害で伊部野川大谷川の復旧費として三百六十六万円。道路災害復旧費として中野線ほか二線の復旧費百一万八千円を計上。

□公債費
一億一千九百五十八万一千円を計上。

話題あれこれ

お年寄りたちに
ワカメの贈り物

加治木漁協のワカメ種苗育成グループ（会員四人・田尻清宣会長）は、今が盛りのワカメを特老にいるお年寄りたちに食べてもらい、元気な毎日を送ってほしい―と三月七日、会員二人が高井田にある特別老人ホーム「望岳園」を訪れワカメ十五㌔（魚箱で三箱）をプレゼントしました。

代表のお年寄りたちは、取れたばかりのワカメを手にして「新しいワカメのお味そしるが食べられます」とよろこんでいました。

友だちと仲よく
町子ども会大会

町子ども会（瀬之口三夫会長、会員二、七五三人）では三月二十七日、加治木中で第二回・町子ども会大会を開きました。この大会は①町内の子ども会を育成する。②沢山のお友だちをつくり仲よくする―ことなどを目的として昨年から発足したものです。

当日は町内の百二十三の子ども会から代表者など百六十人が参加しました。優良子ども会表彰では「永原子ども会」と「柳田子ども会」が選ばれ、続いてこの二つの子ども会が研究委嘱部落の運営発表を行いました。

このあと子どもたちは、大会記念のタオルを鉢巻にして中学生はバレーボール、小学児童はドッジボールで親ぼくを深めあいました

県道・空港線沿いに
カンナの球根を植付

竜門校区青年団（吉村繁樹会長会員四十七人）では、県道＝空港線の溝辺町境いから小山田・布越交差点までの道路沿い約三㌔に、カンナの球根一千株を植えました

三月九日（日）会員たちは、手分けして穴を掘り、自家用トラックで自宅から運んだ五台分のたい肥をまき、加治木駅前の花園から株分けしたカンナの球根を植えました。会員の話によると「昨年も植えたが土質が悪くて根腐れしていた。今年は沢山たい肥を提供してもらったので、夏から秋にかけて真紅の花がいっぱい咲いて、空港へ行き交う人たちの目を楽しませてくれるでしょう」男女青年たちは、小雨の中を次から次へと植えていきました。

主婦の立場から
東さん意見発表

四十九年度の「明るい選挙推進大会」が三月六日、鹿児島市の中央公民館で開かれ県下の市町村明るい選挙推進委員や選挙管理委員会委員、職員などが参加しました

講演のあと「選挙をきれいにするには、われわれはどうすればよいか」をテーマにパネル討議が行われ、当町の東豊子さん（岩原西）ら五人の代表者がそれぞれの立場で意見を発表しました。

東さんは「毎日の生活の中でこそ、政治に対する考えを勉強するチャンスだ①日常の生活での不満が政治不満にむすびつく②わたしたちの一票一票で世の中を変えることができる」など、主婦の立場からいくつかの事例をあげて発表しました。

歩行者もこれで安心
錦江橋の横に歩道橋

加治木中のそばにある錦江橋に沿って、このほど歩行者用の歩道橋が別に完成しました。

この歩道橋の完成で、これまで橋の両端を小さくなって渡っていた通学者や一般の歩行者から、これでやっと安心して橋が渡れる―と大変よろこばれています。

この歩行者専用の橋は、町が「特定交通安全施設等・整備事業」によって架設したもので、橋の幅は一・五㍍、橋の延長は六十㍍で、総工費は八百三十一万円です。

錦江橋も最近は、鹿児島空港方面へのタクシーやトラックなどが向江町から新道までの六つの信号機を避けて通り抜けるため、車の数もふえ登下校時や夕方の買物時は、とくに混雑していたものです

新役員決まる
どうぞよろしく
（婦人会だより）

三月二十三日　町福祉センターホールで四十九年度の町連合婦人会総会を開きました。

町長さんをはじめ町関係の方、姶良教育事務所の荒瀬指導課長さん、歴代の町婦連の役員でいらっしゃる先輩の皆さまのご出席をいただきました。

四十九年度の会務報告と決算、五十年度の活動方針と行事計画、予算などの審議を行いました。皆さまからの暖かい激励のことばは私たち会員に勇気を与えてくださいました。途中で退席される方もなく、最後まで有意義な総会が行われましたことを、お礼申しあげます。

五十年度の町婦連と校区常任委員が改選されましたので、紙上でご紹介します「どうぞよろしく」会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

▽町婦連・執行部

会　長　堤　治子
（副）　川井田よお子
（副）　西迫　雅　子

▽校区常任委員

柁城校区　会　長　出木場ハナ
（副）　吉丸あや子
（副）　川畑とし子
錦江校区　会　長　蔵満　月子
（副）　平田　依子
（副）　石原アツ子
永原校区　会　長　久保田照子
（副）　東　秋子
竜門校区　会　長　湯川　好子
（副）　久重　洋子
中野校区　会　長　本村アヤ子
（副）　常盤キヌ子

今年は国際婦人年
国連総会で提唱

今年は、国連が提唱した「国際婦人年」に当たります。

スローガンとして

①平等　男女平等の促進
②発展　経済、社会、文化の発展への婦人の参加
③平和　国際友好と協力への婦人の貢献

の三点を掲げています。これを受けて、わが国でも労働省婦人少年局を中心として、各種の行事が行われます。

これを機会に、わが国における「婦人の人権」の現状について考えて見ることも意義深いことと思われます。

新入学児メモ

一日の緊張をほぐしてやる

幼稚園から大学まで、ことし入学したお子さんにとっては、新しい人生の出発点に立ち、歩きはじめたわけです。

ついこのあいだまで、台所から洗たく物の干し場までお母さんの腰にまとわりついて離れなかったお子さんが、新しいランドセルを背負って学校へ出かけます。口ではうまく言えないお子さんにとって、自分のまわりの環境の変化に戸惑っていることもありましょう

いままでは近所のお友だちだけだった交遊関係から、お母さんのヒザを離れて、顔も気ごころもわからないお友だちと一緒に過ごす時間がふえたのですから、家に帰ってくるまでの張りつめた気持ちを察してやってください。

家に帰ってくると、出かけるときの元気さはどこへ行ったのか、ぐったりと、あくびばかりしているお子さんもいます。

「学校で何かあったのじゃないかしら…」とお母さんはご心配でしょうが、せっかちにお子さんを問いつめないで、きょう一日の緊張を解きほぐしてやるようにしてやってください。

春らんまん

日中の気温は日に日に上がってきます。各地花便りが聞かれる今日このごろです。お買物ついでに親子そろって公園の中で、くつろぐ姿もチラホラ見うけます（綱掛児童公園で）

一日四千五百円
大工・左官の賃金

町内の大工・左官で構成している加治木町土建組合（今中清一郎会長・組合員八十人）は、このほど総会を開き、組合員の見舞金や弔慰金の支給規程、賃金の引上げなどを決めました。賃金については町内の利用者の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いしたいと同組合では、呼びかけています

▽大工一日の賃金
四千五百円（現行四千円）
▽左官一日の賃金
四千五百円（現行四千百円）

椿散る母の褓を乾すあたり　恒吉　斗南
猫柳江南の春いま如何に　横山　江南
初市や母の土産の姫だるま　田代　俊一
貨車きしむ音にとび立つ冬の鳩　中山　待香
これよりは小径尽きたり蝌蚪の水　井之上透山
早堀りの筍飯や母の味　宮脇　思川
日の恵みふくらみそめし白木蓮　伊丹　靖博
手の甲に色をためして雛を描く　林　玄洋
吾も亦所詮逝く身ぞ冬薄日　松永　愛子

〝おどればはなじゃ〟

ひなじょ明け　百年近い行事守る

＝隈原子ども会＝

〈踊れば、はなじゃ…幼女も無心に踊る（坂元則男宅で）

四月三日は、月おくれのひなまつり。町内・西別府の隈原部落で百年近く部落の女の子たちに代々受け継がれている伝統の〝ひな祭り〟部落では「雛女明け＝ひなじょあけ」と呼んでいる行事が、今年も行われました。

この行事は、前年の節句から今年の節句までの一年間、部落内に女の子が生まれた家をきれいに化粧し、晴れ着できかざった女の子たちが、親頭（かしら）や子頭に連れられて、これらの家々を訪問伝統の古い歌をうたい、即興の踊りで、後輩の誕生を祝い、成長を祈る行事だ―と伝えられています

ことし主役の女の子たちは、よちよち歩きの幼女から中学三年までの二十一人で、午前中全員で部落内の家からフダン草をもらって回ったあと、親頭の坂元雪美さん（一四）＝永原中三年＝の家で、年長者がカツオブシのダシでつくったフダン草と豆腐のスマシ汁を全員にふるまう。

腹ごしらえが終ると、いよいよ本番お目当ての家を回る。最近は牛の子が生まれた家や新築の家も回ると言う。これは部落内に若夫婦の数が少いからだ。そして他町や他部落に嫁に行った家にも回るようになったと、部落の主婦たちは話している。

これらの話をよそに子どもたちは

〈踊れば　はなじゃ
　踊らにゃ　損じゃ
　おげん　おっかはなんな
　鍋も　はがまも
　こ（購）いださん
　こげな　こっつあ
　めってな　ごあはん

部落の長老、隈原ナツさん（九〇）は「歌もフダン草もオカベのオッケも、こまんかときと変りもはんあんころは花代（寸志）も二十銭か三十銭もろもんごわした。うれしごわしたな―。昔はテコ（太鼓）サンセン（三味線）で家を回ったもんごわんした…」と当時を懐古しながら、最後にポツリと「このごろは、どこも子どんが少なかでとぜんねごわんさなあ―」と話していました。

おもての座敷では、今日の主役二十一人の女の子たちが、百年近く、あるいはそれ以上に伝えられ歌われ続けられている「踊れば、はなじゃ…」の歌を口にしながら無心に踊っている姿がとても印象に残りました。

時代は変っても、隈原部落の女の子の節句「雛女明け」は、まだまだこれから先も受け継がれていくことでしょう。

第16回／全国少年選抜剣道練成大会

五回戦パート準決勝で惜敗

＝加治木剣道スポーツ少年団＝

三月三十日、茨城県水戸市で開かれた第16回・全国少年選抜剣道練成大会に出場した加治木剣道スポーツ少年団一行六人は、初出場ながらよく健闘し五回戦パート準決勝まで進出、惜しくも岡山県にわずか一ポイント差で敗れた。

しかし全国出場二百六十三チームのうち三十二位内に残る予想外の好成績をあげ、努力賞や個人優秀賞を土産に四月一日元気に帰加しました。

□出場選手名（　）は旧学年

先鋒　向江　宏文（柁小五）
次鋒　下小牧　浩（陵南小五）
中堅　持留　裕之（錦小五）
副将　樋口　利昭（錦小六）
大将　鈴木淳一郎（柁小六）
補欠　樋口　輝彦（錦小四）

□個人優秀賞　持留裕之
□努力賞　加治木剣道スポーツ少年団

進級試合と送別試合

〝警精館〟剣道スポーツ少年団

加治木警察署内にある、剣道スポーツ少年団〝剣精館〟では、三月二十九日道場で、進級試験と送別試合を行いました。

進級試験では十三人に級が与えられ、子どもたちは大いに練成に励んでいます。

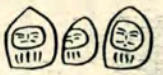
□進級者名（　）は旧学年

一級　堂園　浩（柁小六）
二級　牟田園一仁（同四）
　　大迫　昭蔵（同六）
三級　川上浩平（同）
　　滴塩　照秋（陵南小六）
　　坂留　輝幸（同）
四級　久木田　学（柁小五）
　　老岐晃一郎（同）
　　坂元　敏（同）
　　重丸　誠（陵南小五）
　　堂園　幸治（柁小四）
　　美坂　昌徳（錦小三）
　　福永　和彦（柁小三）

異動（四月一日付）

教委・体育保健課長補佐（消防係長）猪目明▽福祉課保健衛生係長（建設課管理係長）溝口利男▽総務課文書係長（企画課企画係長）小浜寛司▽建設課管理係長（福祉課衛生係長）城正昭▽企画課企画係長（教委体育保健係長）徳寄園宗▽総務課消防係長（同文書係長）向江巧▽総務課（企画課）向江豊▽経済課（建設課）小城輝夫▽同（総務課）上村正和▽同（農委）寺師秀孝▽企画課（住民課）坂元和久▽住民課（経済課）中山修二▽同（税務課）恒吉照三▽税務課（企画課）西猛志▽同（教委）神薗進▽総務課（住民課）永井京子▽経済課（教委）末吉美代子▽福祉課（収入役室）武田万里子▽収入役室（総務課）蔵屋美千代▽教委・学校給食第二共同調理場（経済課）福森春則▽同学校教育課兼体育保健課、川上幸男▽同体育保健課兼学校教育課、川田伸幸▽同社会教育課体育保健課、向江悦子▽農業委事務局・農地係長（経済課）猪目初男

おしらせ



〃〃〃〃〃〃〃 香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。（　）内は故人です。

▽町社会福祉協議会へ

二万円　吉原　鶴田ユキ（夫厚行）
三万円　上木田　松元あき（夫政見）
三万円　今町　汰木清彦（妻ミエ）
一万円　芦蒲谷　上村フミ（夫孝一）
二万円　萩原　比志島直義（妻タカエ）
二万円　口ノ町　西　親志（母タケ）
三万円　田中　新納純雄（母ナヲ）
五千円　須崎　石井　泉（母テル）
一万円　岩原西　中島のぶ（夫武夫）
五千円　西反土　萩原テル（夫静夫）
五千円　日木山黒川　越迫シズエ（夫辰二）
二万円　須崎　杉田　平（母キタ）
一万円　南汐入　児玉キヨ（夫磯右ヱ門）
五千円　吉原　川畑ハレ（父谷口幸吉）
一万円　下新道　八重倉十助（妻エイ）
一万円　札立　横山タマ（夫政義）

▽町老人クラブ連合会へ

一万円　須崎　杉田　平（母キタ）

▽町育英奨学資金へ

一万円　石野　石野武二（父金蔵）
一万円　岩原東　森　フデ（夫勝二）
一万円　田中　新納純雄（母ナヲ）
二万円　須崎　杉田　平（母キタ）
一万円　南汐入　児玉キヨ（夫磯右ヱ門）

○三月二十日までのご寄付を掲載しました。

一般の特志寄付

▽町育英奨学資金へ

三千円　柁城地区婦人会
三千円　錦江校区婦人会

▽町立小山田保育所へ

桜（七年生）十一本　東川内　肇

三月二十五日に福祉課職員と失対人夫で同保育所に植えました。

▽町社会福祉協議会へ

二万円　木田壮年会

▽町立図書館へ

柱時計一個　蒲生田　福元武志

ありがとうございました。

「ふじいろ」の保険証は無効
四月からは「くさいろ」

町では、五十年四月から国民健康保険被保険者証（保険証）の更新を行いましたので、旧保険証での診療は受けられません。ご注意ください。

新しい保険証は…「くさいろ」
古い保険証は……「ふじいろ」

お手もとに古い保険証がありましたら、国保係へお返しください

四月の在宅医

6日　池田医院　②二二二〇
13日　岩崎(昭)医院　②二三一五
20日　大川医院　②二〇三二
27日　神田橋医院　②二〇二四
29日　平山医院　②二四六八

○…診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。
○…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください

須崎海岸の貝堀り
四月十三日から

加治木漁協では、須崎海岸の貝堀りを四月十三日から解禁します

解禁日や入場料など、次のとおり

○解禁日　毎日曜日・祭日
○入場料　大人百五十円、中学生百円、小学生五十円。団体、二十人以上（一人当たり百円）

確定申告の誤りは「更正の請求」を

所得税の確定申告は三月十五日で終りましたが、税務署に申告書を出したあとで申告書の間違いに気付いたときは、税務署に「更正の請求」をしてください。

また、少なく申告していた場合の「修正申告」もできます。用紙は加治木税務署にあります。

歯の治療に注意
保険でできるもの できないものに注意

歯や歯ぐきの病気になった場合社会保険や国民健康保険ではそれらの保険を扱っている歯科医院の窓口に保険証を提出すれば、治療はできます。しかし、健康診断や虫歯の予防などは健康保険ではできません。

□保険でできる治療□

歯や歯ぐきが病気になった場合診察、検査、レントゲン診断、投薬、注射、処置および手術、歯冠修復、欠損補綴などの治療。

□保険でできない治療□

健康診断、歯並びをそろえる治療や美容を目的とするもの、虫歯の予防など。

□差額負担治療□

次のような治療を患者が希望する場合、慣行料金から保険で給付される額を差引いた額を負担することで治療が受けられます。

①金合金や白金加金、特別製の陶材を使い、つめたり、かぶせたり、入れ歯を入れたりする場合

②床の部分を金属で作った入れ歯を入れる場合

③欠損歯が三歯以上のブリッジを入れる場合

差額負担治療を受ける場合にはどのような材料を用い、どのような治療を受けるのか、またどの程度の費用の負担をすることとなるのか―などについて、歯科医師と十分話し合うことが肝要です。